

仮想アース Crystal E の導入(27)(HP 収載)

—仮想アースの製作(8)—

1. 始めに

製作した仮想アースの用途については前報(21)で報告しています。その後、仮想アースの追加製作や用途の検討などを行いましたので、用途の再配分を行います。本報も、Crystal E のみの報告ではありませんが、整理の都合上、仮想アース Crystal E の導入シリーズに含めて報告いたします。

2. 仮想アースの再配分

前報(21)の配分は以下のとおりでした。

- 1 号機 前報(12)製作品
TANNOY Autograph MINI スピーカー入力端子
- 2 号機 前報(14)製作品
FAL C90EXW スピーカーケーブルの途中
- 3 号機 前報(18)製作品
Crystal E の Brooklyn DAC+などへのバックアップ
- 4 号機 前報(19)製作品
Rogers Cadet III
- 5 号機 前報(20)製作品
EMT981

その後、前報(26)で 6A 号機、6B 号機、6C 号機、6D 号機が追加になっています。今回、用途の再配分は次のように行います。

Crystal E は従来どおり、LINN LP12 および Tohrens TD124 のアナログ再生系と Garrad401 のアナログ再生系および Brooklyn DAC+の兼用に使用します。

以下の製作品は必要に応じて兼用とし、メインの FAL C90EXW のパフォーマンス確保と JBL4350A の常時使用を可能とします。

- 5 号機 前報(20)製作品
FAL C90EXW スピーカーケーブルの途中
- 3 号機 前報(18)製作品 および 6B 号機 前報(26)
3 号機と 6B 号機は、2 機をパラレルに接続して、同時に使用することのない下記の兼用にし、常時 DA-3000 に使用しますが、必要に応じて繋ぎ替えます。
TASCAM DA-3000

EMT981

Marantz SA11-S2

Rogers Cadet III

2号機 前報(14)製作品

JBL4350A ダブルウーファー駆動 **KT88pp** アンプ

1号機 前報(12)製作品

JBL4350A ミッドバスからツイーター駆動 **45pp** アンプ

4号機 前報(19)製作品

同時に使用することのない下記の兼用にします。

JBL4350A スーパーツイーター**PT-R7** スピーカー入力端子

TANNOY Autograph MINI スピーカー入力端子

その他、6C号機は**Crystal E**のバックアップに使用し、効果のなかった6A号機と6D号機は解体します。

3. 仮想アースの再配分後の試聴

FAL C90EXWでは、アナログ再生と**DMR-UBZ1**経由の**BPODCH**および**BS**放送の録画再生および**EMT981**の**CD**再生を行ってみます。

アナログ再生は、5号機の確認ですが、アッカードの**パガニーニの24**の奇想曲では、ボウイングの細部の表現がしっかり出ており、この曲の醍醐味を味わえます。倍賞千恵子では、ボーカルは伸び伸びと歌い、バックの伴奏もクリアーで、間接音も明瞭に聴き取れます。

BPODCH再生は、5号機、3号機と**6B**号機の確認ですが、キーシンとヤンソンス指揮のベルリンフィルのリストのピアノ協奏曲1番を視聴しましたが、オーケストラの音の分離もスタンウェイの左手の低音の沈みこみも、大ホールを揺るがす低音の響きも申し分ありません。

BS放送の録画再生は、5号機、3号機と**6B**号機の確認ですが、新倉瞳のチェロリサイタルを視聴しましたが、チェロの音色も、ベーゼンドルファーの響きも自然です。

EMT981の**CD**再生は、5号機、3号機と**6B**号機の確認ですが、フランソワ＝フレデリック・ギィ（ピアノ）とグザヴィエ・フィリップ（チェロ）のベートーヴェンのチェロソナタ集を聴きましたが、チェロのボウイングも、ピアノの打鍵やフレージングも演奏会で聴いてきたイメージが再現されています。

JBL4350Aではアナログ再生で、2号機、1号機、4号機の確認を行ってみます。アッカードの**パガニーニの24**の奇想曲では、ヒステリックになりがちでもっとも**JBL**の苦手とする曲ですが、かなりのところ払拭されて、**FAL**のシステムに近い鳴り方に近づいています。

倍賞千恵子では、JBLの朗々とした鳴り方が、この手の曲の良さを引き出しています。

4. まとめ

仮想アースの再配分を行い、それらの効果の確認ができ、JBL4350Aにも仮想アースの常時接続が実現しました。

以上